

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスCOLORS			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年 12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年12月10日 ～ 2024年12月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日の情報共有やプログラムについてのミーティングをしている	・スタッフ全員で情報の共有をできています ・その日に行う活動も意見を出しながら、利用者の状況に合わせて検討できています。	・これまでの実践を踏まえ、テーマを設けた事例検討等を取り入れ、より具体的で実践的な意見交換の場を増やしていきます。
2	・公園での活動と室内での活動とバランスが取れている	・公園を利用することで体を動かす時間も十分に確保できています。みんなで遊ぼうという時間を設け、毎日決まった活動（リレー・ドッチボール・サッカー等）に全員で取り組んでいます。室内では机上課題や手先を使った活動（アクアピース・塗り絵・作業訓練等）も充実させています。	・様々なプログラムを増やしていき、保護者からも情報を聴取しながら本人のしたい活動に取り組める環境を引き続き提供していければと思います。 ・可能であれば（利用者や保護者からの希望があれば）、地域の児童クラブ等との交流機会を設けられればと思います。 ・引き続き公園活動と室内活動のバランスを大切にし、利用者の体力づくりと集中力の向上の両面を意識した支援を行っています。
3	公園での活動により地域の児童等と交流が持てている	・公園での活動を通して地域の児童との自然な関わりが生まれ、社会性やコミュニケーション能力の向上につながっています。	・公園の利用を継続するとともに、少し離れた場所の公園、公共施設や児童センター等を利用することで関わる人の数を増やし、社会性をより一層高めていけるようにできればと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や交流する機会、ペアレントトレーニングの充実	・保護者会や相談対応の機会は設けているものの、参加しやすいや周知方法に課題があり、十分に活用されていない状況があります。 ・利用時の様子の見学や相談会等個別に対応できる体制はありますが、実施に至っていないご家庭もあり、機会を増やしたいと考えております。	・開催日の調整や保護者の希望を聞いて多数の参加を促してまいります。今後は内容も含め、広く周知できるよう努めます。 ・個別の相談等についてもより保護者の方が依頼しやすいよう声掛けを行ってまいります。
2	・実例に合わせた対応の面で不安がある（マニュアルの充実等）	・マニュアルは施設内であれば閲覧できますのでご希望がございましたらおっしゃってください。 ・これまでの事例を振り返りながら対応力の向上に努めているものの、より実践に即したマニュアル整備が今後の課題となっています。	・ひとつひとつの事象をこれまで通り振り返り、今後の対応に生かしてまいります。今後蓄積した経験をもとにマニュアル等をより実用性のあるものへとしていければと思います。
3	・放課後児童クラブや児童館との交流が持ていない	・新しい場所や慣れない環境や人に適応するのが難しい利用者の特性も踏まえ、実施に至っていない状況があります。 ・感染症の影響を考慮している状況もあります。	・公園の利用を継続するとともに、少し離れた場所の公園、公共施設や児童センター等を利用することで関わる人の数を増やし、社会性をより一層高めていけるようにできればと考えています。 ・可能であれば（利用者や保護者からの希望があれば）、地域の児童クラブ等との交流機会を設けられればと思います。 ・外部講師を招いて音楽イベントやパソコン教室を実施し、専門的な活動を通じて多様な体験や交流の機会を提供しています。